

○現状の水害リスク情報や取組状況の課題

①情報伝達、避難計画等に関する事項

項目	課題	課題の対応
想定される浸水リスクの周知	<ul style="list-style-type: none"> ・浸水エリアの認識や周知が不足している ・計画規模を超える洪水が発生した場合の浸水エリアが分からない 	A
	<ul style="list-style-type: none"> ・想定最大外力を対象とした氾濫シミュレーションが公開されていない 	B
避難勧告等の発令について	<ul style="list-style-type: none"> ・避難勧告が夜間の場合、避難中の災害や事故等が懸念される ・空振りの避難勧告が多発した場合に信憑性が薄れる ・防災対応に必要な複数の機関からなるタイムラインは作成されておらず、防災機関の対応のばらつきが懸念される 	C
避難場所、避難経路について	<ul style="list-style-type: none"> ・現在のハザードマップにある避難場所は、計画規模を超える洪水により浸水する場合を想定していない 	D
	<ul style="list-style-type: none"> ・浸水エリア内に避難場所や避難経路が指定されている 	E
住民等への情報伝達の体制や方法について	<ul style="list-style-type: none"> ・防災情報が高齢者に伝わっていない ・WEB等により各種情報を提供しているが、住民自らが情報を入手するまでに至っていない ・住民に対し切迫感が伝わっていない ・住民の防災意識・知識が十分ではなかった ・平成16年7月の福井豪雨では広報車からの避難情報の放送が豪雨の音で聞こえにくかった 	F
避難誘導體制について	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者に配慮した避難計画となっていない ・夜間などの避難勧告発令時期のタイミングが難しい ・避難行動要支援者の避難誘導體制が確保されていない 	G
避難に関する啓発活動について	<ul style="list-style-type: none"> ・水害経験の無い世代への水防災意識の伝承が十分でない ・平成16年7月の福井豪雨では、避難率が5%にとどまり、住民の防災意識・知識が十分でなかった 	H

○現状の水害リスク情報や取組状況の課題

②水防に関する事項

項目	課題	課題の対応
水防体制	<ul style="list-style-type: none"> ・水防団構成員の高齢化が顕著である ・自主防災組織の組織率が低下している 	I
	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡体制の不備により出動初動体制が混乱している 	J
	<ul style="list-style-type: none"> ・担当エリアに隣接する地区との重要水防箇所に関する情報・認識が十分でない 	K
河川水位等に係る情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・基準地点等の河川水位しか情報提供がなされていない 	L

③氾濫水の排水に関する事項

項目	課題	課題の対応
氾濫水の排水について	<ul style="list-style-type: none"> ・氾濫発生後、速やかに被害状況の把握が出来ていない ・排水ポンプ車の最適配置計画がない ・ボランティア活動等の支援活動の効率的な運用（活用）が出来ていない 	M

④河川管理施設に関する事項

項目	課題	課題の対応
堤防等河川管理施設の現状の整備状況	<ul style="list-style-type: none"> ・計画断面に対して、高さや幅が不足している区間がある 	N
	<ul style="list-style-type: none"> ・完成された堤防とするには時間、費用を要する 	O

○現状の水害リスク情報や取組状況の共有（各市町）

①情報伝達、避難計画等に関する事項

項目	課題の対応	福井市	あわら市	坂井市	永平寺町	小浜市	若狭町
避難勧告等の発令について	C	<p>(1) 避難準備情報 避難準備情報に関係した洪水注意報等が発表され、さらに水位の上昇が見込まれ市長（本部長）が必要と認めるとき、または河川の水位が避難判断水位を超え、特別警戒水位情報が公表され、さらに水位の上昇が見込まれるなどの状況を総合的に判断し、市は必要な地域に対し避難準備情報を発表するとともに、避難行動に時間を要する災害時要援護者へ避難行動の開始を求める。</p> <p>(2) 避難勧告 洪水警報が発表され市長（本部長）が必要と認めるときは、該当する地域に対し避難勧告を発表する。</p> <p>(3) 避難指示 人的被害の発生する可能性が非常に高いと市長（本部長）が判断した場合は、避難指示に切り替える。 ※タイムラインの事例あり。</p>	<p>(1) 避難準備情報 避難行動要支援者が避難できる時間を残して災害が発生する可能性が高まったとき。 ・河川水位が一定時間後に避難判断水位（特別警戒水位）若しくははん濫危険水位（危険水位）に到達すると予測されるとき 等</p> <p>(2) 避難勧告 災害が発生し、又は発生する恐れがある場合において、特に必要があると認められるとき。 ・河川水位が避難判断水位（特別警戒水位）に到達したとき ・河川管理施設の異常を確認したとき 等</p> <p>(3) 避難指示 災害が発生し、又は発生する恐れがある場合において、特に必要があると認められるとき。 ・河川水位がはん濫危険水位（危険水位）に到達したとき ・堤防の決壊を確認したとき ・河川管理施設の大規模な異常を確認したとき 等</p>	<p>(1) 避難準備情報 災害時要援護者が避難できる時間を残して災害が発生する可能性が高まったとき。 ・河川水位が一定時間後に特別警戒水位もしくは危険水位に到達すると予測されるとき等</p> <p>(2) 避難勧告 災害が発生し、又は発災する恐れがある場合において、特に必要があると認められるとき。 ・河川水位が特別警戒水位に到達したとき ・河川管理施設の異常を確認したとき</p> <p>(3) 避難指示 災害が発生し、又は発災する恐れがある場合において、特に必要があると認められるとき。 ・河川水位が危険水位に到達したとき ・堤防の決壊を確認したとき ・河川管理施設の大規模異常を確認したとき</p>	<p>(1) 避難準備情報 避難準備情報に関係した洪水注意報等が発表され、さらに水位の上昇が見込まれ町長（本部長）が必要と認めるとき、または河川の水位が避難判断水位を超え、特別警戒水位情報が公表され、さらに水位の上昇が見込まれるなどの状況を総合的に判断し、町は必要な地域に対し避難準備情報を発表するとともに、避難行動に時間を要する災害時要援護者へ避難行動の開始を求める。</p> <p>(2) 避難勧告 洪水警報が発表され町長（本部長）が必要と認めるときは、該当する地域に対し避難勧告を発表する。</p> <p>(3) 避難指示 人的被害の発生する可能性が非常に高いと町長（本部長）が判断した場合は、避難指示に切り替える。 ※タイムラインの共有。</p>	<p>(1) 避難準備情報 はん濫注意報が発表され、はん濫注意水位に到達しさらに上昇が見込まれる場合、今後の気象予想や河川巡視等からの報告を含めて総合的に判断して、必要な地域に対し発令する。</p> <p>(2) 避難勧告 はん濫警戒情報が発表され、水位予測に基づき一定時間後にははん濫危険水位に達すると見込まれるとき、あるいは避難判断水位に到達しさらに上昇が見込まれる場合、必要な地域に対し発令する。</p> <p>(3) 避難指示 はん濫危険情報が発表され、はん濫危険水位に達した場合、必要な地域に対し発令する。</p>	<p>(1) 避難準備情報 ①北川の<small>小浜市高塚水位観測所</small>の水位がはん濫注意水位である6.80m（レベル2 警戒水位）に到達し、かつ、はん濫注意情報において引き続き水位上昇が見込まれている場合 ②北川の堤防に漏水等が発見された場合</p> <p>(2) 避難勧告 ①北川の<small>小浜市高塚水位観測所</small>の水位が避難判断水位である7.00m（レベル3 特別警戒水位）に到達し、はん濫警戒情報の水位予測により、水位が堤防高を超えることが予想される場合 ②河川管理施設の異常を確認（堤防の決壊につながるおそれのある漏水・排水ポンプ故障等）</p> <p>(3) 避難指示 ①北川の<small>小浜市高塚水位観測所</small>の水位がはん濫危険水位である7.70m（レベル4 危険水位）に到達した場合 ②河川管理施設の大規模異常を確認（堤防本体の亀裂・大規模な漏水・排水ポンプの停止等）</p>
避難場所、避難経路について	D E	<ul style="list-style-type: none"> 防災備蓄倉庫の整備 給水設備の整備 マンホールトイレの整備 町名表示板の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 防災備蓄倉庫の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 防災備蓄倉庫の整備 洪水ハザードマップの全戸配布による避難所及び避難方向の周知 	<ul style="list-style-type: none"> 早期の避難所開設 	<ul style="list-style-type: none"> 防災備蓄倉庫の整備 避難所の早期開設 避難場所へのテレビや発電機等の配備 	<ul style="list-style-type: none"> 防災備蓄倉庫の整備 避難所の早期開設 指定避難所の表示板設置を検討
住民等への情報伝達の体制や方法について	F	<ul style="list-style-type: none"> デジタル防災情勢無線の設置 防災情報メールの整備 街角放送、福井ケーブルテレビ、ウェザーニューズとの協定 	<ul style="list-style-type: none"> 防災行政無線のデジタル化 メール配信サービスやSNSの利用 	<ul style="list-style-type: none"> デジタル防災行政無線の設置中 防災メール登録者への情報発信 Lアラートによるマスコミとの情報連動 	<ul style="list-style-type: none"> 防災行政無線のデジタル化を整備 ケーブルテレビや防災メール、SNSの活用 	<ul style="list-style-type: none"> デジタル防災情勢無線の設置 同報系防災行政無線「戸別受信機」の各戸への配備 防災メールやSNSの活用 ケーブルテレビとの連携 	<ul style="list-style-type: none"> デジタル防災情勢無線の設置中 各戸に設置されている音声告知端末による情報伝達。 Lアラートによるメディアへの情報提供およびエリアメール発信。
避難誘導体制について	G	<ul style="list-style-type: none"> 町名表示板の整備 福井市避難支援プランの実施 	<ul style="list-style-type: none"> 指定避難所の表示板を設置 	<ul style="list-style-type: none"> 指定避難所の表示板を設置中 	<ul style="list-style-type: none"> 避難情報の早期発令 	<ul style="list-style-type: none"> 避難情報の早期発令 避難行動要支援者名簿と個別支援計画の作成 	<ul style="list-style-type: none"> 指定避難所の表示板設置を検討
避難に関する啓発活動について	H	<ul style="list-style-type: none"> 総合防災訓練の実施 出前講座の実施 防災フェアの実施 防災ハンドブックの配布 防災センターでの展示 	<ul style="list-style-type: none"> 自主防災組織の育成 防災訓練の実施 出前講座の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 自主防災組織の育成 出前講座の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 防災訓練・防災研修会・防災講話の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 水防訓練の実施 出前講座の実施 避難訓練や災害図上訓練DIGなどのワークショップの実施 	<ul style="list-style-type: none"> 水防訓練、防災訓練の実施

②水防に関する事項

項目	課題の対応	福井市	あわら市	坂井市	永平寺町	小浜市	若狭町
水防体制	I J	<ul style="list-style-type: none"> 自主防災組織の育成及び立ち上げサポート 自主防災組織への資機材補助 	<ul style="list-style-type: none"> 自主防災組織の育成及び立ち上げサポート 	<ul style="list-style-type: none"> 自主防災組織の育成及び立ち上げサポート 水防資器材備蓄倉庫の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 自主防災組織の充実強化 防災組織の協議会組織確立 自主防災組織の育成及び立ち上げサポート 	<ul style="list-style-type: none"> 自主防災組織の結成啓発活動 自主防災組織の育成及び立ち上げサポート 	<ul style="list-style-type: none"> 自主防災組織の育成及び立ち上げサポート 防災組織の協議会（地域づくり協議会）の設置

○現状の水害リスク情報や取組状況の共有（国・県）

①情報伝達、避難計画等に関する事項

項目	課題の 対応	近畿地方整備局	気象庁	福井県
想定される 浸水リスク の周知	A B	<ul style="list-style-type: none"> ・九頭竜川及び北川において計画規模の外力による浸水想定区域図を公表している ・堤防が決壊した際の氾濫シミュレーション結果を福井河川国道事務所のHP等で公開している 		<ul style="list-style-type: none"> ・県管理の洪水予報河川及び水位周知河川において計画規模の外力による浸水想定図を公表
避難勧告等 の発令につ いて	C	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時に、福井河川国道事務所長と首長とのホットラインによる情報の共有ができています 	<ul style="list-style-type: none"> ・指定河川洪水予報の共同発表機関と「洪水予報の協定及び実施要領」の改訂を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・県管理の洪水予報河川で、県と気象台が共同で洪水予報を発表し、自治体への連絡と報道機関等を通じて住民への周知を行っている。 ・「洪水予報実施要領」の改訂【H28.5.17】
住民等への情 報伝達体制や 方法について	F	<p>現在CCTVカメラの映像を九頭竜川で3箇所、北川で1箇所の映像（静止画）をHPで提供している。</p>	<p>各防災機関に防災提供システム等で伝達及びテレビ・ラジオや気象台HP</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・災害情報インターネットシステムを活用し、Lアラート、SNS等を通じて県民へ災害情報を配信
避難に関する 啓発活動につ いて	H	<ul style="list-style-type: none"> ・「わが家の防災コンテスト」の実施【H26,H27年度実施】 	<ul style="list-style-type: none"> ・「わが家の防災コンテスト」の実施【H26,H27年度実施】 ・出前講座などの啓発活動を不定期実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・「わが家の防災コンテスト」の実施【H26,H27年度実施】

②水防に関する事項

項目	課題の 対応	近畿地方整備局	気象庁	福井県
河川水位等に 係る情報提供	L	<ul style="list-style-type: none"> ・HPより（中角、深谷、高塚地点）CCTV映像の提供 ・川の防災情報を活用した河川水位の情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・気象警報とリンクした雨量の色分け ・警報発表の可能性を含めた予測と分かりやすい情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・福井県河川・砂防総合情報を活用し、HPや携帯へ河川水位・カメラ映像を情報提供
水防体制	K	<ul style="list-style-type: none"> ・水防箇所の共同点検【H27年度】 	-	<ul style="list-style-type: none"> ・出水時には、河川管理施設を点検するため、河川巡視を実施

○現状の水害リスク情報や取組状況の共有（国・県）

③氾濫水の排水に関する事項

項目	課題の 対応	近畿地方整備局	気象庁	福井県
排水施設、排水資機材の操作・運用	M	<ul style="list-style-type: none"> ・排水ポンプ車の派遣 ・衛星通信車の派遣 ・災害時、国より排水ポンプ車を派遣し、排水活動を支援している 	-	<ul style="list-style-type: none"> ・排水ポンプ車の配備

④河川管理施設の整備について

項目	課題の 対応	近畿地方整備局	気象庁	福井県
堤防等河川管理施設の現状の整備状況	N O	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の堤防の高さや幅、過去の漏水実績などから、河川改修を実施 	-	<ul style="list-style-type: none"> ・河川改修を実施

○目標を達成するための具体的な取り組み（案）

○：実施予定、●：実施済み、-：対象なし

具体的な取組の柱	事項	具体的な取組	主な内容	課題の対応	目標時期	関係機関																
						福井市	あわら市	坂井市	永平寺町	小浜市	若狭町	福井県	国		地域住民							
													気象台	近畿地整								
1. 逃げ遅れをなくす的確な避難行動のための取り組み																						
具体的な取組の柱	■避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成・活用等		・避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成	C	H28年度	●	-	○	-	●	○	-	-	-	-	-						
			・関係者の役割分担をより明確にしたタイムラインの作成		H30年度	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-							
			・避難のための時間を十分に確保した避難勧告を発令するためのタイムラインの検証と改善（活用訓練等の実施）		H28年度から実施	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-							
			・タイムラインの作成支援		引き続き実施	-	-	-	-	-	-	●	●	●	-							
	■ハザードマップの作成・周知等		・市町を越えた広域避難計画の検討	E	H31年度	○	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-						
			・想定最大外力を対象とした浸水想定区域図の策定・公表	A	H28年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-						
					H30年度	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-						
			・想定最大外力を対象とした氾濫シミュレーションの公表	B	H30年度	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-						
			・ハザードマップの更新・周知	D	H31年度	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-						
	・災害時における逃げ遅れをなくすため、避難行動要支援者の避難計画の検討	G	H32年度	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-								
	■防災に関する啓発活動、水害（防災）教育の拡充		・「わが家の防災コンテスト」などの参加型の防災啓発活動をさらに進めるため、福井県内の小学生の参加者数（応募者数H26年度:95点⇒H27年度:178点）の増加を図り、域内全教育委員会に積極的に働きかける	H	引き続き実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●						
			・防災に関する補助教材を活用した小中学校と連携した防災に関する出前講座の取組み		H28年度から順次実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○						
■避難行動のための情報発信等		・避難情報を各世帯へ確実に届けるため防災行政無線の普及（無線のデジタル化等）	F	H32年度	●	●	○	○	●	○	-	-	-	-	-							
		・避難情報を対象者へ確実に届けるためにケーブルテレビや防災メールへの登録、配信サービスやSNSの活用等		H32年度	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-							
		防災対策や住民の避難行動の判断をより分かりやすくするため水位計やCCTVカメラの情報を提供（配信）		引き続き実施	-	-	-	-	-	-	●	-	●	-	-							
		・住民の避難行動を促すためプッシュ型の洪水予報等の情報発信のための整備		引き続き実施	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-							
		洪水予報文の改良と運用		H28年度	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-							
2. 氾濫時に人命と財産を守る水防活動の強化																						
具体的な取組の柱	■水防体制の強化		・ロールプレイング方式による情報伝達訓練の実施による連絡体制の強化・確認（タイムラインの活用も検討）	J	H29年度から毎年実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-							
			・市町を越えた水防訓練の検討		H28年度から毎年実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-							
			・水防資機材の備蓄等の着実な確認		引き続き実施	●	●	●	●	●	●	-	-	-	-							
			・水防団員や消防団員の募集の強化、自主防災組織の活用、強化	I	引き続き実施	●	●	●	●	●	●	-	-	-	○							
■水防活動支援のための情報公開、情報共有		・重要水防箇所の情報共有と関係市町との共同点検の実施	K	引き続き実施	●	●	●	●	●	●	-	-	●	-								
3. 一刻も早く災害から復旧するための取り組み																						
具体的な取組の柱	■排水活動及び施設運用、ボランティア活動等の強化に関する取組		・九頭竜川・北川に関する河川情報等の迅速な状況把握と関係機関への情報提供と共有	M	引き続き実施	-	-	-	-	-	-	●	-	●	-							
			・緊急時に早急かつ的確な対応を行うため大規模災害を想定した排水ポンプ車の最適配置計画の作成		H31年度	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-							
			・基地被災時を想定した衛星通信車や対策本部車を利用した訓練		H29年度から毎年実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-							
			・ボランティアの効率的な活動を支援するため、「福井県社会貢献活動支援ネットシステム」の活用できるよう拡充を検討		H32年度	○	○	○	○	○	○	-	-	-	○							

○目標を達成するための具体的な取り組み（案）

○：実施予定、●：実施済み、－：対象なし

具体的な取組の柱		主な内容	課題の対応	目標時期	関係機関								地域住民	
事項	具体的取組				福井市	あわら市	坂井市	永平寺町	小浜市	若狭町	福井県	国		
												気象台		近畿地整
ハード対策														
■洪水を河川内で安全に流す対策		・江端地区、江上地区の堤防整備	N	H28年度	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-
		・中藤新保地区等の堤防整備		H32年度	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-
		・片粕地区、水取地区他河道掘削		H32年度	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-
■危機管理型ハード対策		・天端の保護	O	H32年度	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-
		・裏法尻の補強		H32年度	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-
■避難行動、水防活動に資する基盤等の整備		・早期に氾濫が発生する地域等における洪水時の避難勧告等の発令判断に活用するため簡易水位計・量水標を設置し情報共有	L	引き続き実施	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-
		・水防団等の水防活動を支援するためCCTVカメラを設置し情報共有		引き続き実施	-	-	-	-	-	-	●	-	●	-

